

Motivate, Encourage and Empower:

Smart approaches to help students grow as learners

子供たちの成長を助け、学ぶ力を養う指導法

Sapporo, March 4th Sunday 札幌市教育文化会館

How to Design Communication Activities Which Motivate Young Learners

子どもたちのやる気を引き出すコミュニケーション活動の作り方

北海道教育大学札幌校 志村 昭暢

1. 新学習指導要領における小学校外国語活動・外国語科の目標

外国語活動 (3, 4年)

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語科 (5, 6年)

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(文部科学省, 2017a)

2. 小学校外国語活動・外国語科における言語活動とは

外国語活動や外国語科における言語活動は、記録、要約、説明、論述、話し合いといった言語活動よりは基本的なものである。学習指導要領の外国語活動や外国語科においては、言語活動は、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。したがって、外国語活動や外国語科で扱われる活動がすべて言語活動かというところではない。言語活動は、言語材料について理解したり練習したりするための指導と区別されている。実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うという言語活動の中では、情報を整理しながら考えなどを形成するといった「思考力、判断力、表現力等」が活用されると同時に、英語に関する「知識及び技能」が活用される。つまり、英語を用いず、日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成する活動は、外国語活

動や外国語科においては言語活動とは言い難い。一方で、英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動も言語活動であるとは言い難い。例えば、発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動は、言語活動ではなく、練習である。練習は、言語活動を成立させるために重要であるが、練習だけで終わることのないように留意する必要がある。

(文部科学省, 2017b)

3. 子どもたちのコミュニケーション能力を高める活動とは？

- ①スピーキングの活動が含まれている
- ②ペアやグループの活動であると明示されている, または, そうであると予想できる。

⇒ **モノログ・スピーチ・一斉発話以外のスピーキング活動 ⇒ インタラクションのある活動**

(臼田他, 2014)

③学習者の興味に合った活動

⇒ **学習者の動機づけを高める活動 ⇒ 子どもたちのやる気を引き出す活動**

- ④文法や語彙ではなく, 意味内容に焦点が当てられている
- ⑤結果として残るものがある
- ⑥活動を完了させることが目的となっている
- ⑦現実生活で使える

(Willis & Willis ,2007)

4. 子どもたちのやる気を引き出す活動とは？

◎ Motivation Orientation of Language Teaching (MOLT) (Guilloteaux & Dörnyei, 2007)

- ・教師が授業内でどの程度学習者の動機づけを高める方略を用いているかを測る授業分析手法
- ・分析方法

Spada and Fröhlich (1995)の Communicative Orientation of Language Teaching (COLT) を参考

⇒ 行動観察型の COLT Part A の手法

⇒ 1分毎にコーディング, リアルタイムでの分析も可能

- ・動機づけストラテジー

Dörnyei (2001) から授業分析で客観的に観察可能な 25 項目を抽出

◎ MOLT の項目 Observational Variables Measuring Learners' Motivated Behavior

A. Teacher's motivational practice

1) Generating, maintaining, and protecting situation-specific task motivation

- ① Teacher discourse 11 項目 ⇒ **教師の発話**
- ② Participation structure (P.S.) Pair work / Group work ⇒ **学習者の形態**
 - ・ Activity design 7 項目 ⇒ **活動のデザイン**

2) Encouraging positive retrospective self-evaluation 4 項目 ⇒ **フィードバックの方法**

B. Learners' motivated behavior 3 項目 ⇒ **学習者の態度**

5. MOLT を応用した子どもたちのやる気を引き出す活動の作り方

◎ MOLT の Activity Design の項目を基に、教科書や教材のスピーキング活動を改良する

◎ MOLT の Activity Design の具体的な活動例 (志村, 2017ab)

+ tangible reward	活動を成功させるために具体的な報酬を与える活動
+ personalization	個人の経験, 感情, 意見を表現させる活動
+ elements of creative/interesting/ fantasy element	学習者の関心・価値等に関連し, 好奇心を刺激する活動
+ intellectual challenge	論理的思考を要する活動 (パズル, 発見学習など)
+ tangible task product	ポスターやパンフレット作り等, 具体的成果に向けた活動
+ individual competition	個別に競い合う要素を含む活動
+ team competition	グループで競い合う要素を含む活動

6. 子どもたちのコミュニケーション能力を高める活動とは?

◎タスク性チェック判断基準 (臼田他, 2014)

1. Interaction (Group work)

ペアやグループの活動としてふさわしいか

2. Meaning

第一に意味の理解や伝達に焦点を当てているか

3. Outcome

活動の終わりに結果として残るものがあったり、結果が行動として現れたりしているか

4. Completion (Explicitness)

活動の目標(goal)・完了が何かが明示されているか

5. Authenticity

実生活の活動と関係があるか

引用文献

Dörnyei, Z. (2001). *Motivation strategies in the language classroom*. Oxford University Press.

Guiloteaux, M. J., & Dörnyei, Z. (2008). Motivating language learners: A classroom-oriented investigation of the effects of motivational strategies

on student motivation. *TESOL Quarterly*, 42, 55-77.

Spada, N. & Frölich, M. (1995). *COLT observation scheme*. Sydney: National Center for English Language Teaching and Research, Macquarie University.

Willis, J., & Willis, D. (2007). *Doing Task-Based Teaching*. Oxford University Press.

志村昭暢. (2017a). 「学習者の動機づけを高めるペア・グループ活動—理論編—」. 『開隆堂英語教育』, 69(1), 14.

志村昭暢. (2017b). 「学習者の動機づけを高めるペア・グループ活動—実践編—」. 『開隆堂英語教育』, 69(2), 14.

臼田悦之・志村昭暢・横山吉樹・中村洋・山下純一・竹内典彦・河上昌志・白鳥亜矢子. (2014). 「コミュニケーション活動のタスク

性分析—学習指導要領改訂後の中学校教科書を比較した場合—」. 『HELES Journal』, 13, 3-20.

文部科学省. (2017a). 『小学校学習指導要領（平成 29 年告示）』. 東京: 東洋館出版社.

文部科学省. (2017b). 『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』. 東京: 旺文社.